

Rotary



週報

ロータリーは世界をつなぐ

2019~2020年度国際ロータリーのテーマ

No.01247 2019.9.2 第8例会

◆本日のプログラム

◆次回のプログラム

9月2日
「内部卓話」

久松 哲生 会員

9月9日

クラブフォーラム

青少年奉仕委員会

委員長 山田 喜広



ROTARY CONNECTS THE WORLD

◆理事・役員(2019.7~2020.6)

| | |
|-----------|---------|
| 会 長 | 山 下 浩 一 |
| 副 会 長 | 岡 本 浩 三 |
| 幹 事 | 西 岡 貞 則 |
| 副 幹 事 | 森 本 剛 仁 |
| 理事・S.A.A. | 笠 原 英 司 |
| 副 S.A.A. | 楠 慎 平 |

| | |
|----------|---------|
| 会 計 | 仲 田 錠 二 |
| 理事・職業奉仕 | 氏 房 信 明 |
| 理事・社会奉仕 | 鈴 木 一 生 |
| 理事・国際奉仕 | 野 田 洋 市 |
| 理事・青少年奉仕 | 山 田 喜 広 |
| 理事・会員増強 | 樋 口 芳 紀 |

| | |
|------------|-----------|
| 理事・プログラム | 堀 川 辰 也 |
| 理事・親睦活動 | 小松原 隆 代 |
| 理事・ロータリー財団 | 小 松 忠 男 |
| 直 前 会 長 | 竹 本 千 代 子 |
| 次 期 会 長 | 平 松 信 |

地区のスローガン

「I'm a Rotarian!」

クラブのスローガン

「ロータリーを楽しもう(Enjoy Rotary)」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30~13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階

TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288

E-mail : hokusei@ok6rc.jp http://okayama-hokusei-rc.jp

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ

E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

インターアクト地区大会の報告 岡山理科大学附属中学校・高等学校 沼本 和真 様 高橋 海成 様

岡山理科大学附属中学校・高等学校インターアクトクラブの沼本和真です。高橋海成です。よろしくお願いたします。本日はこのような場に立たせていただきまして、誠にありがとうございます。本校クラブの活動について、報告させていただきます。



それでは、この夏の7月20日(土)～21日(日)に開催された「国際ロータリー第2690地区第43回インターアクトクラブ地区大会」について報告します。

この大会においては、岡山県・鳥取県・島根県のインターアクトクラブ生徒や、その地区のRCの方々が集い、会合を行いました。この大会では、国際理解につとめ、それぞれの文化を尊重しながら奉仕活動に従事するクラブが集まり、自分たちの普段の活動について報告しあい、刺激を受けるものでありました。

さて、今大会は、梅雨も明けきらない時期に、島根県出雲市の「島根県立青少年の家(サン・レイク)」において行われました。今大会のテーマは、「育もうENJOYインターアクト!～思いやりの地・松江の歴史と文化の美しさを見つめて～」というものでした。記念講演においては島根県の独自文化や歴史について学び、島根のことを学ぶことによって私たちの地元である岡山について思いをめぐらせることができました。また、地域の歴史を考えることで未来について考えることができました。未来を担うのは私たちのような若者世代であり、それを託して応援してくださっているのがRCの方々です。RCの方々の助言をいただきながら、「未来」について、高校生と大人が真剣に語り合いました。

私たちは、昨年度の第42回地区大会において、多くの人たちの支えのもと、大会の運営を行いました。大きな行事を自分たち自身で話し合い、考えながら運営することができて、非常に大きな充実感を味わったものです。安全最優先のために、2日目ができなかったことは残念でしたが、他の学校の生徒たちと良いコミュニケーションが取れてよかったと思っています。今回は、昨年度の貴重な経験を抱きながら参加しましたので、ある意味余裕を持って参加することができました。先に申し上げておきますと、今大会を運営してくださった島根県の各校の対応は素晴らしいものであり、おもてなし精神など、私たちが大いに学ぶことがあったように思います。

さて、この大会に参加した学校は、全17校であり、各校のインターアクトクラブのみなさんとの交流をはかることのできるものとなりました。非常に真剣に活動に取り組んでいる学校の生徒と話をすると、すごく大人びているように見え、自分たちももっと真剣に取り組まなければならないなど強く思ったものです。自分たちの活動はまだまだ小さく、回数自体も少ないものです。これからは、もっと様々な活動を増やしていき、インターアクトクラブの枠をこえて、本校生徒にもいい影響を及ぼせるような団体になっていきたいと思っています。

さて、今大会において、休憩時間や食事の時間、あるいは相部屋となっていた生徒たちとの時間には、他校の生徒たちは普通の高校生だなと感じる部分もありましたが、やはりひとつひとつの言動がすぐれており、見習うべきことが多かったなと思っています。インターアクトクラブ生徒であること自体に自信を持っているようでしたし、さらにいうと、学校全体を背負ってきているような感じがしました。やはり、心づもりひとつで、言動にも表れてくるのだなと感じています。

島根県の歴史・文化については、国宝松江城の見学を通してひしひしと感じたものです。私たちが案内して下さったガイドの方は、なんとブラジルの方でした。戦国大名に扮し、流ちょうな日本語・島根弁で、非常に詳しい説明をしてくださいました。これを見て、島根に対する愛情をひしひしと感じましたし、外国の方がこんなにも島根県のことについて知っていて、さらに人にわかりやすく説明されている姿を見て、私たちががんばらなければならないと感じたものです。また、松江城めぐりをする前に、記念講演において出雲の(カッコつきではありますが)「閉鎖的な」環境のおかげで様々な文化が育まれてきた背景が説明され、なぜ松江の町がそのような魅力にあふれているのかということがよくわかっていたので、移動中にもさまざま思いを巡らせることができ、非常に興味深く感じました。

さて、先ほども少しお話ししましたが、記念講演のあとには各校のインターアクトクラブの生徒が各班に分かれ、班別会議を開きました。テーマは、「インターアクトクラブとしてどのような活動をしていきたいか」と、「インターアクターとして、今後どのようにになりたいか」です。昨年は災害が非常に多く起き、怖い思いをした人もたくさんおられました。災害にあわれた方の不安を取り除くためにも、真っ先にボランティア活動に取り組みたい、また実際に取り組んだという意見が多くみられました。しかし、私たちはまだ高校生であり、経済的に遠方へ赴くことはなかなか難しいし、体力的にも強くないという人もいました。そもそもどのようにしてボランティア登録をしてくれるのかさえもわからなくてもどかしい思いをしているという人が多くいました。ボランティア活動には様々なものがあるので、自分のできる範囲で、人の助けができればいいのかなと思います。ただし、自分の満足だけのためにそのような活動をするのではなく、本当に助けを必要とされる方のためにはがんばらなければならないのだと感じています。最後には、班ごとにまとめたものを全員の前で発表しました。真剣に考えている人たちの前で発表するのは、プレッシャーも大きかったのですが、達成感のあるものでした。

続いて、日ごろのインターアクトクラブの活動報告に移ります。今年は、校内の清掃を中心に活動していますが、まだまだ活動が少ないので、今後活発にやっていきたいと思っています。特に、済生会ライフケアセンターでのボランティア活動の回数を、もっと増やしたいと考えているところです。

また、昨年度は岡山北西ロータリーの方々との清掃活動ができなくて残念でしたが、今後、ロータリーの方々のご都合がつけば、昨年度に行った駅前清掃活動のようなことをしていきたいと思っています。中学生と高校生が一緒になって活動する機会がまだまだ少ないので、活発な活動ができるようにしたいです。

岡山県総合グラウンド沿いの「理大ボランティアロード」の整備も含め、新たな活動にも取り組みたいと思っています。

さらに、学校行事の運営にインターアクトクラブが積極的にかかわるという案が出ています。実際に、ある学校では生徒会執行部は全員インターアクトクラブに所属するところがあります。インターアクトクラブでの活動は、将来のリーダーになるために非常に役立つものであると思っています。このような運営を積極的に手伝うことで、これから人を引っ張っていきけるようにがんばりたいと思います。

以上で岡山理科大学附属中学校・高等学校インターアクトクラブの活動報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。



左から 日笠 常信 会員、西野 大樹 先生、高橋 海成 さん、沼本 和真 さん、山下 浩一 会長

イニシエーションスピーチ

田原 誠 会員



こんにちは。わたくしは、本日の例会において、インターアクト地区大会の様子を報告させていただいた教員・学生が所属する岡山理科大学附属中学校・高等学校の校長です。本クラブには5月に入会させていただきました。本校のインターアクトの活動は、この岡山北西ロータリークラブのご支援により実現しているものであり、心から感謝申し上げます。また、本日は、このようなイニシエーションスピーチの機会をいただきまして、まことにありがとうございます。本日は、わたくし自身の略歴と前任の岡山大学時代から取り組んでいます国際バカロレア教育についてお話させていただきます。

わたしは、1953年5月11日に三重県四日市市で生まれました。1977年に京都大学農学部を卒業後、農林省(当時の名称)に就職し霞が関で働いておりました。1985年にその職を辞して渡米し、1988年に、コムギの遺伝改良の分野で博士号を取得しました(オクラホマ州立大学)。修了時は、遺伝子組換え作物が実用化されたバイオテック幕開けの時代で、米国の著名なベンチャー企業と共同研究を始めていた新日本製鐵に採用されました。同社はその後バイオから撤退することになり、1994年に岡山大学農学部に移り、今年の3月末まで在籍していました。岡山大学では、作物の品種を特定する独自の遺伝分析の手法を開発し、農林水産省のプロジェクトの他、製粉会社、ジャムや植物色素のメーカーさんなどと開発を行っていました。

国際バカロレア(IB)については、自分の子供が学んだために、その教育の仕組みと素晴らしさを理解しておりました。岡山大学で管理的な業務に携わり、国際関係や外国語教育に関わっている際、グローバル人材の育成が強く求められ始めました。その時にIBを修了した日本人の生徒を書類審査のみで受け入れる入試制度を検証・提案しました、この入試は当初は一部の学部での限定実施でしたが、2015年度からは全11学部1コースに拡張されました。現在、医学科が5人の入学定員を割り当てるなど、積極的な受け入れが進められています。

IBは高校までの教育で、これからの世界を担う若者の育成を目的として世界の5,000校以上で実施されています。生徒自身のアイデンティティを築く母語の文化や文学を深く学び、さらに、多面的な思考力、探究心、研究能力、コミュニケーション能力、多文化理解などを習得していきます。このような教育の内容と質に加えて、教育の進め方や生徒の到達度の評価などが世界基準で行われており、欧米、オセアニアなど、世界の大学がIB教育の修了者を歓迎しています。IB教育の国内での実施はインターナショナルスクールに限定されていましたが、政府が主導してその普及を積極的に推進することになりました。その一環として、高校レベルのIB教育は、日本語(文学・文化)の科目以外は、全て英語による教育でしたが、政府がIB教育を主催する機関と協議して、英語による教育科目は2科目以上残すものの、それ以外は日本語で教育してもよいことになりました。この日本語デュアルランゲージプログラムの導入により、IB教育を導入する高校が増加しています。私は、今年3月末までの岡山大学の4年間は、入試担当部門の長でした。岡山大学は、IB修了生を先進的に受け入れてきたことから、文部科学省の補助金を確保してIB教育の普及のための活動進めてきました。今年4月には、岡山県下で初めてIB教育の国際認可を受けた高校に着任し、来年4月からIB教育を実践していきます。先行き不透明なこれからの時代をたくましく生き抜いていく若者を育むためには、従来の知識・技能を受動的に習得する教育は十分ではありません。IB教育の普及は重要な役割を果たすと考えていますので、その目標に向かって積極的にチャレンジしていきます。

日本でIB教育の普及が進められる理由

国際バカロレア教育の理念
10の学習者像 (The IB Learner Profile)

- ・探究する人
- ・知識のある人
- ・考える人
- ・コミュニケーションができる人
- ・信念をもつ人
- ・心を開く人
- ・思いやりのある人
- ・挑戦する人
- ・バランスのとれた人
- ・振り返りができる人

日本の教育改革が求める「真の学びの力」

次代を担う若い世代に必要な学び

- (1) 十分な知識・技能の獲得
- (2) 自主性・探究心
課題発見・解決能力：思考力・判断力
表現力 (コミュニケーション能力)
- (3) 主体性 (能動的学びへの転換)
異文化理解
協働して学ぶ態度

前回 8月26日の例会記録

出席の状況

会員数 51名(内出席免除者 0名) 出席者数 41名 欠席者数 10名 出席率 80.39%
欠席者 相原, 入江, 橘高, 小松, 森永, 大賀, 岡本(和), 槌田, 氏房, 横山

ゲスト

岡山理科大学附属中学校・高等学校インターアクトクラブ
顧問 西野 大樹 様、 部員 高橋 海成 様、 部員 沼本 和真 様

会長報告

会長 山下 浩一

昨日(8月25日)は、犯罪被害者支援の講演を聴きに行きました。TV報道で知っていたつもりでしたが、とても勉強になりました。平成16年以前は、国と加害者(犯罪者)が裁判をしており、その中には被害者が入れず、発言権もありませんでした。弁護士である岡村勲氏が、自分の妻を殺害され、自身が被害者になって、この不合理に気付き、全国犯罪被害者の会、「あすの会」を立ち上げました。現在は被害者(家族等)は検察の傍で発言出来る様になったそうです。



今後は被害者の経済的支援も市町村単位で法整備が進んで行く所です。

いつ私達の身近で事件が起るかわかりません。明日は我身と感じました。

幹事報告

幹事 西岡 貞則

- ① 2018-19年度 第8・9グループIMRレポートを配付しております。
- ② 8月28日(水) 18:30より第1回IDMを西川荘にて開催いたします。
- ③ 岡山済生会80周年感謝の夕べのご案内を配付しております。
- ④ マルチプル・ポール・ハリス・フェローの襟ピンが届いておりますので会長より贈呈させていただきます。



だきます。

- ⑤ 本日例会終了後、13:30より3F「エメラルドの間」において、「第3回創立30周年記念実行委員会」が開催されますので、実行委員会の皆様はよろしく願いいたします。
- ⑥ 他クラブ週報を回覧いたします。

スマイル報告

山下会長：8月24日地元(中橋津)の盆踊りがありました。ビールが当たりましたのでスマイルします。

平松会員：田原誠様、インターアクトクラブの皆様、ようこそ北西RCへ。また、今日は30周年の実行委員会をよろしく願い申し上げます。

日笠(常)会員：田原先生スピーチ期待しております。

西野先生、岡山理科大学附属中学校・高等学校インターアクトクラブの高橋君、沼本君よろしくおこし下さいました。

花房会員：最近スマイルをしていないので、S.A.A.・副S.A.A.に協力してスマイルします。

笠原会員：9月1日四国リーグ都合があるため欠席します。

小松原会員：9月18日(水)の月見夜間例会のご参加の可否のお返事を場所がパーティ会場ではないため、準備の都合で早目によりしくお願い致します。

森本会員：来期からファジアーノ岡山への新加入が決まった山田恭也選手のお父様は私の親友です。みなさん、応援宜しくお願いします。

川本会員：先日は私の母のことでお気遣い等ありがとうございました。

竹本会員：お誕生日祝いのとても素敵な生花ありがとうございました。この一年が充実した年になる様つとめます。

楠 会員：今週次女が誕生日を迎えますのでスマイルします。

奥田会員：先日は素敵なお誕生日のお花をありがとうございました。

クラブ情報

11件 35,000円 (累計 273,200円)

「岡山済生会80周年 感謝の夕べ」のご案内

岩本一壽 会員

岡山済生会80周年を記念して日頃よりお世話になっております皆様に感謝をこめて、「河合郁子ヴァイオリン・コンサート」を開催いたします。2000人入るホールです。申し込みをされる方は、9月20日までにロータリークラブ事務局までお願いします。

日 時：令和元年11月15日(金) 開 場：午後5時45分 開演：午後6時30分

場 所：岡山シンフォニーホール



9月お祝い行事

例会情報

本日のメニュー (9月2日)

御寿司 瀬戸内産真鯛 松皮造り サーモン 炙り紋甲烏賊 海老芝煮 ガリ 芽物一式 県産醤油
金糸玉子 蒨 大葉 鱒いくら醤油漬け

温 物 きのこ蒸し(椎茸 榎木茸 湿地 舞茸 振り柚子 美味出汁餡)

揚 物 天婦羅(海老 茄子 獅子唐 白玉 生姜 檸檬 天出汁)

小 鉢 白胡麻豆腐 山葵 花穂紫蘇 琥珀ジュレ

赤出汁 滑子 若芽 葱 粉山椒

次回のメニュー (9月9日)

鯛の香草パン粉焼き サフラン風味の白ワインソース 大根とスプラウトのサラダ

白胡麻のブランマンジェ 無花果のコンポート パン、コーヒー

会報部会／久松 哲生・藤木 希実子・丹治 康浩